

【汗対策】

あっという間に一学期が終わり、もう夏休みです。今年の夏は例年より気温が高めと言われています。湿度が高い日本の夏は、過ごしにくいですが、補聴器にとっても大変な季節になります。

最近ではフォナックから汗や水に強い安心構造（JIS 防水保護等級3級）の補聴器も出ていますが、やはりほとんどの補聴器は汗や水に大変弱い構造となっています。そのために汗対策としていくつかの方法があります。

① ドライケースで保管する。

ドライケースは蓋がしっかり密閉できるものが乾燥剤のもちがよいようです。乾燥剤は多くの方がシリカゲル（1袋250円）が使われているようですが、色は大丈夫でしょうか？青いシリカゲルは塩化コバルトが含まれていますので再利用はできません。色が薄くなったりピンク色になったりしたときには、十分に湿気を取り除けませんので早めの交換をお願いします。また、ドライケースに補聴器を保管する際、電池の寿命が短くなりますので、電池を外してください。その際、電池の空気孔（+面の穴）をテープかなにかで覆うと少し、もちが良くなるそうです。



高性能補聴器乾燥機もクイックエイド（リオン、I D E X）などが発売されています。クイックエイドは①スピード乾燥 ②紫外線LEDでクリーン除菌 ③パワフル脱臭 の3つの効果があります。

② 汗カバーをつける。

リオンから補聴器カバー（茶・青・ピンク各315円）が発売されています。夏場は汗をよくかくので電池がさびることもありますが、カバーをつけると、すばやく汗を吸収し、速乾性があります。また、マイクまで覆っても性能に影響がないといわれています。厳密には影響があるようですが、風きり音などは軽減されるようです。



人工内耳も補聴器同様、湿気に弱いデリケートな器械です。汗と湿気によるダメージを軽減するためにスピーチプロセッサの乾燥と清掃も毎日行ってください

夏季休暇中、ドライケースの管理を

しっかりお願いします。

- * 子どもは大人以上に汗かきですので、充分ご注意ください。
- * イヤモールドも雑菌がわきやすくなっています。除菌ティッシュなどで毎日の手入れをお願いします。

★補聴器カバーの特長★



【こんなときはどうしよう?】

補聴器を付けたまま「プールに入ってしまった!」水に濡れた場合は、ひたすら水分を取り除き、しっかり乾燥（ドライヤーの温風は厳禁!）させると元通り使えるようになることもあるようです。しかし、「海に落としてしまった」場合は、真水で洗い流すことが必要です。このとき、補聴器内部に入った海水もしっかり取り除くようにします。塩分が残ると補聴器の内部が錆び、壊れてしまいます。真水でしっかり洗ったら、後は乾燥させます。

どちらの場合も、乾燥させても元に戻らないときは、修理に出しましょう。また、音が出ているようでも完全に元通りの音が出ない場合もあります。学校か補聴器店で一度点検してもらいましょう。

【人工内耳】

《マイクロホンカバー》

フリーダムのマイクロホンカバーが新しくなりました。新しいものは内側の保護膜が黒色で、約3か月使用ができます。マイクロホンカバーは埃、大気中のちりなどを捕らえ、日常生活での汗や水滴からマイクロホンを保護しています。このカバーが汚れると徐々に音質が劣化していきます。日々の聞こえをよりよい状態で維持するためにも、3か月に一度の交換をお勧めします。



【電池の購入】

（株）アイソニック東京補聴器プラザから補聴器電池案内が来ました。パワーワン、レイオバック、パナソニックとも10パック以上で1パック400円、20パック以上で1パック350円（送料、代引き手数料不要）です。送料、手数料が会社負担となりましたので、各ご家庭で注文をお願いします。1週間以内の納品になるそうです。（裏面にFAX用紙を印刷しています。）

★夏休み中の補聴器のトラブルは直接補聴器専門店へお願いします。★

○お盆休みの期間 佐世保リオン 8月12日(木)～16日(月)
長崎補聴器店 休みなしです。

編集後記

最近の雨は局地的に降り、ゲリラ豪雨とも呼ばれています。今年の梅雨は、佐世保駅周辺は曇りなのに、学校周辺は大雨という日もありました。皆さんのところはどうか？

長い休みに入りますが補聴器、人工内耳同様、体調に気をつけて病気や怪我のないようお過ごしください。